

細川幽齋(藤孝)作《茶杓銘箋》
桃山・江戸時代初期(16〜17世紀) 永青文庫所蔵

贅沢ノ極ミ。

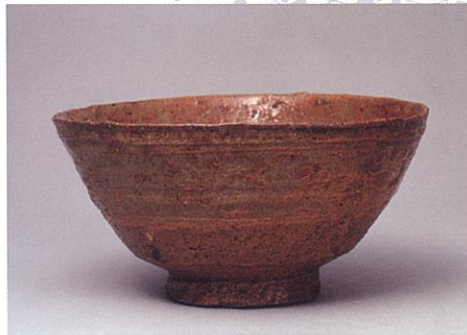
東京都文京区目白台の閑静な場所に位置する、公益財団法人永青文庫。江戸時代に肥後熊本の地を治めていた細川家に伝わる美術工芸品や歴史資料を保存・研究するために、第16代当主・細川護立によって設立されました。国宝・重要文化財を多数含む所蔵文化財は、約9万4千点にも及んでいます。これらの所蔵品を大きく分類すると、「道具」としての性質が強かった大名家時代のコレクションと、近代になって護立が「美術品」として蒐集したコレクションの2本柱で構成されています。



《呂洞賓時絵硯箱》江戸時代中期(18世紀) 永青文庫所蔵

今年2020年は、永青文庫創立70周年のメモリアル・イヤーです。このことを記念して、およそ9年ぶりに国宝「細川ミラー」を期間限定公開します。また、細川家に伝わる茶道具や趣向を凝らした大名調度、御用絵師による近世絵画などに加えて、護立蒐集の国宝・重要文化財の東洋美術品、近代日本画、宮本武蔵の絵画を展示する豪華でぜひ、この機会に細川家の名宝をお楽しみください。

「御宝物帳」にみる 大名細川家の御道具



《伊羅保茶碗》朝鮮王朝時代(17世紀) 永青文庫所蔵

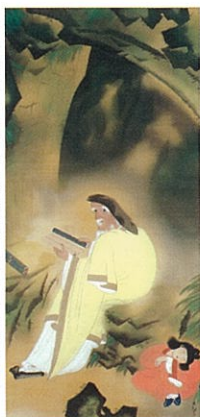


伝雪舟筆《富士三保清見寺図》室町時代(16世紀) 永青文庫所蔵

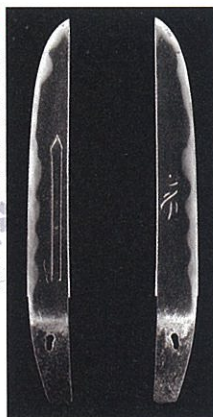
重要文化財 小林古徑筆《髪》昭和6年(1931) 永青文庫所蔵 当館寄託 ※展示期間: 9/18〜10/18



横山大観筆《老子》大正10年(1921) 当館所蔵



国宝《短刀 無銘正宗(名物色)「正宗」》鎌倉時代(14世紀) 永青文庫所蔵



美術の殿さま 護立のコレクション

国宝
《金銀錯狩獵文鏡》(部分)
中国 戦国時代(前4〜前3世紀)
永青文庫所蔵
※展示期間: 9/18〜10/18

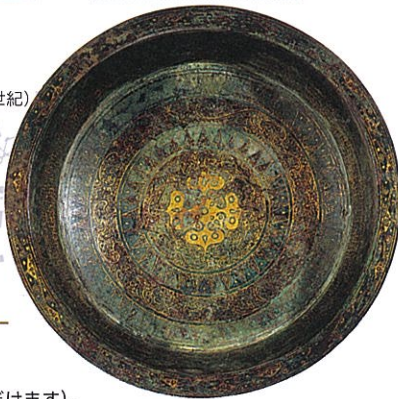


<交通案内>

※「熊本地震」の影響により、通行規制が行なわれています。変動の可能性がありますので、詳しくは当館までご確認ください。
○バス/熊本桜町バスターミナルで下車、城彩苑内を通過し、歩いて15分、または熊本桜町バスターミナルで乗り換え、熊本城周遊バス(通称しるめりん)で「熊本城・二の丸駐車場」下車、歩いて3分「熊本城周遊バス」は、JR熊本駅前起点、時計回りの運行です
○市電/「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、歩いて15分
○JR/熊本駅から熊本城周遊バスで「熊本城・二の丸駐車場」下車、歩いて3分上熊本駅からタクシーで10分
○空港/空港バスで熊本桜町バスターミナルへ、熊本桜町バスターミナルから歩いて15分、または熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城・二の丸駐車場」下車、歩いて3分
○駐車場/二の丸駐車場[有料]、三の丸駐車場[有料]
※城彩苑と二の丸駐車場の間を無料シャトルバスが運行しています(15〜20分おき)

国宝
《金彩鳥獸雲文銅盤》
中国 前漢〜新時代(前3〜後1世紀)
永青文庫所蔵
※展示期間: 10/20〜11/8

重要美術品
《銅製馬車》
中国 前漢〜後漢時代(前2〜後3世紀)
永青文庫所蔵



関連イベント

10月12日(月) 障がいのある方々のための鑑賞デー
通常休館日である月曜日に開館し、障がいのある方々にゆっくりと展示会をご覧ください(どなたでもご来館いただけます)。

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、関連イベントが変更・中止になる場合がございます。当館ホームページにてご確認ください。

同時開催 展示会

9月18日(金)〜11月8日(日)
美術館コレクション 「新収蔵品展〜新しくまもとの宝もの〜」
10月3日(土)〜12月13日(日)
細川コレクション 「新発見! 大名・細川家の日々のお道具」

■観覧料/一般280円(200円)、大学生170円(130円)、高校生以下無料
※()内は団体20名以上の料金。障がい者手帳をお持ちの方無料

主催:熊本県立美術館/熊本県教育委員会、熊本日日新聞社、RKK熊本放送 特別協力:公益財団法人永青文庫 協力:肥後銀行

KUMAMOTO PREFECTURAL MUSEUM OF ART
熊本県立美術館
本館 〒860-0008 熊本中央区二の丸二番 TEL.096-352-2111 FAX.096-326-1512
<https://www.museum.pref.kumamoto.jp>